

今年もあと2ヶ月です。クリスマスのCMがチラホラ出てくる季節になりましたね。朝晩の寒さが厳しくなり、ノドや鼻に不調をきたす方が多いようです。インフルエンザもまだまだ猛威をふるうと思われますので、健康にはくれぐれも気をつけましょう。

みさわ整骨院では「治す」だけではなく、将来的な「予防」まで考えて治療の提案をしています。

## 思春期特発性側弯症について

原因不明(近年解明されつつあります)に背骨がねじれて曲がってしまう方がいます。圧倒的に女性に多く、名前の通り思春期(特に10代前半)に発症するのが特徴です。発生率は女性の5~8%です。重症度は変形の強さを表すコブ角という数値で表され、20°以下の軽度な状態から、25°を超えて装具療法をすすめられる方、更に45°を超える方は手術が提案されます。進行してしまっても、初めは軽度の側弯症からスタートします。角度が小さいうちに、効果のある装具を一定時間以上装着することで、悪化を防ぎ更にカーブが改善した症例は多数あります。しかし効果のある装具はあまりなく、日本でも出回っている装具(ボストン型、シェヌー型)の大多数は効果の少ない装具です。また手術をした場合、背骨を広範囲に金属で固定する上、その金属は一生取り除くことができません。症状が進行する前に発見し、すぐに対処をすることが大切です。

院長のみさわは毎週末、麴町の治療院にてゲンシンゲン装具という、世界で最も効果が期待できる装具の作成に携わっています。

側弯症でお悩みの方がいましたら、一度ご相談ください。

---

みさわ整骨院 院長 みさわてつや

【受付時間】月~土 9時~20時 予約制(急患は随時対応)

※火・木は午後のみ、土曜日は午前のみ

※ご予約は直接ご来院・電話・公式LINEにてお受けいたします

【TEL】03-6807-9797 / 090-7185-3386



LINE



ホームページ